

ひまわりが見頃を迎えました

くしろバスはひまわりの絆プロジェクトに賛同しています

ひまわりの絆プロジェクトとは

平成23年、京都府内で発生した交通事故で4歳の男の子が亡くなりました。生前、男の子は幼稚園で育てていたひまわりの種を自宅に持ち帰っていました。この交通事故を担当していた警察官が自宅を訪問したとき、ご両親からそのひまわりの種を託されたのです。

こうして、男の子が生きていた証を残したいと願うご両親の思いと交通事故根絶の強い思い願いが「ひまわりの種」となって引き継がれ、「ひまわりの絆プロジェクト」として花を咲かせ、平成28年以降は京都府内だけでなく全国各地で花を咲かせました。ひまわりを育てることを通じて、命の大切さを学び、被害者支援への理解を深める取り組みが行われています。



くしろバス本社(文苑2)の敷地内の遊休地をこのプロジェクトのため職員総出で耕しました。毎日職員が交代で世話をし、夏でも冷涼な釧路にもかかわらずたくさんの大輪の花を咲かせてくれました。この大きなひまわりを見て、職員一同改めて交通安全への思いを強く感じています。